

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターエポック幼稚舎(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2025年1月15日		2025年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	100名	(回答者数) 29名
○従業者評価実施期間	2025年1月15日		2025年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達障害に特化した取り組みが系統だっとなされている。 ・TEACCHプログラム ・PECS(絵カード交換式コミュニケーション) ・JASPER →早期に専門的な療育を受けることによって、発達面でサポートが必要な子ども達に対して、早い段階で発達を促すための支援をおこなうことができている。	・園で学習したことが家庭でも一般化できるように、提示物、手順書など園で使用しているものと同じものを販売している。 ・月曜日は音楽療法、火曜日はサーキット、水曜日は隔週で習字と英語、木曜日、金曜日は個別学習と1週間で取り組むことが概ね決まっており、それを週間スケジュールとして家庭と共有することによって、子ども達が見通しを持って登園できるようにしている。	・職員の専門的スキルの習得 ・各部会(音楽、サーキットなど)で専門的な視点を取り入れながら定期的に話し合い、エポックで取り組んでいくにはどうしたらいいのか、自己研鑽している。 →年に何度か保護者にねらいを含め説明し参観してもらっている。サーキット参観では、ねらいと各個人のみどころの入ったしおりを作成するなど、家庭内でも共有できる取り組みをしている。
2		個々に応じた見通しの持たせ方(スケジュールなど)をオーダーメイドで作成。自分でわかって取り組めることを大切にしている。	
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1			
2			
3			

事業所名	児童発達支援センターエポック幼稚園 (児童発達支援)
------	-------------------------------

公表日 2025年3月4日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	② 職員の配置数は適切であるか	○			
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		生活空間は、個々に応じて構造化されている。各フロア内は段差がなく、バリアフリー化されている。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	○		共有スペースは、掃除のチェックリストを作るなどして日々環境を整えるようにしている。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		クラスミーティング等を通して、アセスメントを常時行い、評価改善につなげている。	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		年間を通して、計画的に研修を実施している。PECSなど外部講師によるコンサルを受けている。	
	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		日々の連絡ノートや個別相談を通じて、保護者のニーズを常に把握し、個別支援計画や療育に反映させている。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		児童発達支援計画に基づき、支援をおこなっている。	
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		各係ミーティングやクラスミーティング等を通して、チームで意見を出し合いプログラムを立てている。	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		曜日ごとに、音楽療法、サーキット、英語、習字、個別学習、乗馬など様々な経験ができるようにプログラムされている。	
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		子どもの今の課題や状況に応じて、個と集団を大事にした取り組みがなされている。	
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝のミーティングで、活動の内容やねらいについて確認し、職員間で役割分担をしている。	
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		クラス日誌を毎日記入し、活動の反省を職員間で共有し、次に生かせるようにしている。	
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		担当者会議には、担任が出席している。	
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	㉓ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		ニーズがあれば、来園してもらったり、こちらが行くなどして情報共有をしたり、相互理解を深めるようにしている。	
	㉔ 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		就学に向けての移行支援として、学校側と情報交換をしたり、移行支援の資料を使って共通理解につなげるなどしている。	
	㉕ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		
㉖ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		保育所に通所している子どもがいるので、その場合は交流する機会はある。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
携	⑳	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		日々の連絡ノートを通して子どもの姿や気付き、成長を共有するようにし、課題に関しても般化できるよう働きかけている。
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		
	㉓	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		
	㉔	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		
	㉕	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		
	㉖	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者会主催のフリートークスペース(座談会)に場所を提供したり、父親の会、保護者会の座談会で講演するなどのサポートを行っている。
	㉗	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	㉘	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		園だよりを作成し、発信している。
	㉙	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		
保護者への説明責任等	㉚	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	㉛	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		
	㉜	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		各種マニュアルを保護者控室に設置し、いつでも閲覧できるようにしている。避難訓練は計画的に行い、様子をお便りで知らせている。
	㉝	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		避難訓練(火事、地震、不審者訓練等)は年間で計画的に行っている。
	㉞	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		
非常時等の対応	㉟	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		
	㊱	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	④④	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	④⑤	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			